

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート広場ころる		公表日		令和6年1月4日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	86%	14%	・人員基準以上の人員を配置している。	・個別支援、保護者対応などで職員室にスタッフがいないことがあり、インターホンや電話等の対応ができないことがあった。 ・業務量が多い。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	71%	29%	・視覚支援を意識して取り組んでいる。 ・必要があれば、階段下までお迎えに行く等対応方法を考えている。	・階段、トイレの段差を利用時の移動能力に応じて今後検討。 ・車いすでの移動は難しい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・毎日清掃を行っている。 ・音が気になる場合、イヤーマフが付けられるように設置している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・集団行動時も気持ちが高ぶったり、トラブルがあった時に個室で過ごせるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	86%	0%	・定期的に実施し、情報共有を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・年に1回行っている。 ・全保護者に配布し、意向を把握できるようにしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・2~3か月に一度運営会議。 ・職員間で出た意見は速やかに管理者、全体に報告周知している。	・明確に話を集約できる機会を増やすべき。 →朝礼と終礼を行い、業務の共有を行う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14%	86%		・第三者からの評価は受けていない。 →今後検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・2か月に1度社内研修を実施。 ・3か月に1度委員会を実施。 ・3か月に1度安全計画に沿って訓練を実施。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	86%	14%	・12月1日付でHPに支援プログラムを公表。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・co-miiを導入し、お子様の様子を把握し、客観的に分析している。 ・モニタリングを実施し、保護者のご意見を頂戴している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・支援に携わる担当職員の意見も踏まえ作成。 ・作成後も会議を実施し、共有している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・個別支援と専門計画を支援前には確認しながら支援内容をプログラムし、実施している。 ・話し合いながら支援をつくっている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	86%	14%	・お子様の状態に応じて標準化されたツール(感覚、視覚、LD等)を用いて評価している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・項目に沿って目標を立て個別支援計画の作成を行っている。 ・専門的支援実施計画書を作成し、より専門的な目標を設定し、活動を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	86%	0%	・集団プログラム:チームで立案。 ・個人プログラム:担当や児発管、管理者等スタッフ複数名で相談しながら実施。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・目標に沿って毎回プログラム内容を変えている。 ・季節に応じた活動、イベントを計画、実施している。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・ニーズや状況に応じて組み合わせながら実施している。 ・個別活動中心の子どもも同時刻の子どもとの交流をもつことがある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・集団活動は必ず打ち合わせして確認している。 ・「その日」にできていない時もあるが、前回の療育の様子など確認して取り組んでいる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	86%	14%	・子どもの様子や保護者からの話を職員間で共有している。記録にも残し、次回の支援に活かせるようにしている。	・当日にできている日、できていない日はある。理想は短時間で振り返り+次回に向けた内容等。 →終礼
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・その日に行った教材をスキャンする等、記録に必要な情報を保管しスタッフ共有できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・半年ごとに実施。 ・スタッフ間で確認し、計画の見直しやアイデアを出し合っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	・地域交流は行っていないが、その他の活動は児童に状態に応じて複数組み合わせで行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・子どもによって選択の仕方は変えながら、自己決定できるよう設定をしている。活動内容、順序、自由時間の使い方、報酬など。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・療育担当者と管理者、児発管のいずれかが参加している。 ・療育内容を理解している者が参加が難しい(体調不良等)場合は、どのような活動をしているか様子を伝え、会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	71%	29%	・担当者会議の参加、学校と情報交換を行い、連携した支援を提供できるよう努めている。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	57%	43%	・対象となる利用者への対応はできている。	・送迎することがほとんどないため、下校時刻の確認等は行っていない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	29%	71%	・児童発達支援事業所と情報交換を行い、スムーズに移行できるようにサポートしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	29%	71%	・待合室に就労移行支援などの資料を置いたり、必要があれば情報提供できるよう情報を整理している。	・該当する児童がまだいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	43%	57%	・西部療育センター主催の研修に参加しました。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%		・未実施。ご要望等を踏まえて検討。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	29%	71%	・地域部会の研修に参加した。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・活動の振り返りの機会を設けている。最近の子どもの様子もその都度聞いている。 ・LINE等いつでも情報をやり取りできるよう工夫し、連絡を取り合っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14%	86%	・待合室に研修のチラシの掲示している。	・希望される人数と日程が難しく実現に至っていない。	
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・利用開始前の見学時に説明する時間を設けている。 ・契約時にも説明している。説明後は不明点が残らなかったか確認している。あった場合には、再度説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・利用面談やモニタリング時に意向を確認している。療育終了時の振り返り時や、気になることがあった際はその都度情報を共有できるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	・説明する時間を設け、不明点やご要望を確認し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・振り返り等の時間を利用して、お話をうかがっている。 ・振り返りで話せないような状況であれば、時間を設け、話を聞くことができている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%		・日程の調整と希望により未実施。 →来年度実施を予定(複数回)

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	86%	14%	・駐車場の表示が落ちていたことをご報告いただいたため、すぐに対応した。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・事業所内新聞、保護者向けの通信の発行、SNSの掲載をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・個人情報の含むものは他利用者、外部に触れないように基本的に職員室から持ち出さず、鍵付きロッカーに保管している。 ・資料はシュレッダーにかける等処分している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・必要に応じて文書化、筆談といった視覚的な情報開示などわかりやすい、発信しやすい方法を検討し、取り入れている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		・特に行っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	86%	14%	・スケジュールを決め、定期的に研修、委員会を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・1年に1度研修・訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	86%	14%	・利用開始前に服薬シートで把握し、職員間で共有している。 ・振り返り時に薬の変更等を聞き取っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	43%	57%	・情報シートを作成し、保護者に記入していただいている。 ・クッキング時に再確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・安全計画に基づき、不審者対応、嘔吐対応などの訓練を実施した。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	86%	14%	・連絡網の作成、LINEを使った報告、感染予防対策を待合室に掲示する等して連携を図っている。 ・安全計画に基づき、訓練・教育（お子様向け）を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	86%	14%	・記録に残し再発防止に努めている。 ・必要に応じて保護者の方に共有している。	・スタッフ間の共有がしっかりとできると良い。 →全スタッフに周知できるように注意する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・1年に1回以上研修と委員会を開催している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	86%	14%	・研修委員会で決定し、身体拘束をする可能性のある場合は保護者に事前に十分に説明し、同意を得ることとしている。		